

# 三島市児童発達支援事業所「にこパル」

## 児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、知識の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う。

## 三島市立幼稚園の目標・重点

豊かな感性と豊かな学力を持つ心身共に健康な子どもの育成  
「思いやる心」「学ぶ力」  
「健やかな心身」の育成

## 三島市立保育園の事業の目的

心身ともに健やかに育成されるよう乳幼児期の教育・保育を行うほか、保育所保育指針に掲げる目標が達成されるよう、教育を行う。

## 発達支援課の目標

「気づく」「知る」「支える」「つなげる」の理念のもと、発達に心配や特徴がある方が安心して、生活できることを目指します。

## にこパルの目標

こどもがいろいろな遊びを通して、自分で「わかる」「できる」の体験を積み重ねることで、社会参加に向けた「生きる力」を育みます。  
こどもの豊かな成長や発達に向けて、それぞれに合った言葉かけや関わりを、保護者の方と一緒に考え、安心して子育てができる環境づくりを目指します。

## 社会参加ができる

### コミュニケーションの基礎作り

いろいろな遊びや活動を通して「成功感」「達成感」「成就感」を味わいながら、自立や社会参加に向けた「生きる力」の獲得を目指す。

## 基本的な生活習慣の自立

生活と遊びの経験を職員と一緒に繰り返しながら、基本的な生活習慣、周りの物への気づきや興味、感情や意志を表現する力を育む。

## 主体的に動く力を身につける

活動の中で、一人ひとりに合った環境設定やかかわりをし、「得意なところを伸ばす」ことに重点をおき成功体験を重ねることでこどもが自らやってみようとする気持ちをもつ。

## 家族の思いを大切に、こどもの成長や発達を保護者と一緒に考える。

こどもの良い現われを共感的に伝えながら、保護者とともに成長を感じ合うことで、こどもへの肯定的な関わりやこどもの成長を信じて子育てに向かう気持ちを持ち、こどもの発達の特徴についてお互いに気づきと理解を深める。

## 学年目標

年少	年中	年長
新しい環境の中で、職員と一緒に身の回りのことを行う経験を通して自分のことを自分でやろうとする気持ちが芽生える。	職員や友達と一緒に生活する中で、自分の気持ちを自分なりの方法で表現する。	遊びや生活の中で興味関心をもって自ら考えて行動し、自信をもっていろいろなことに取り組む。